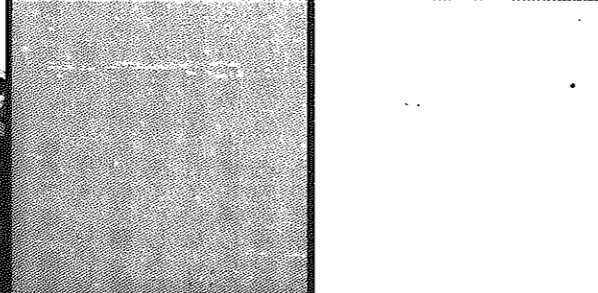
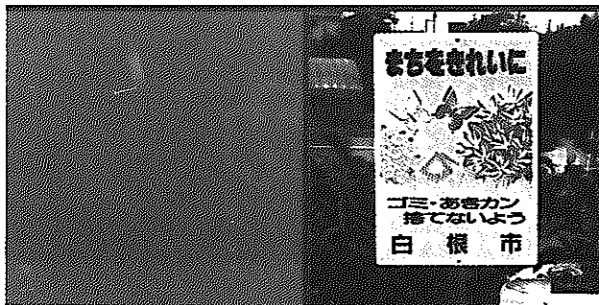




広報 しろね

8. 1
2002 No.620

特集 農業王国しろね「大地の恵み」



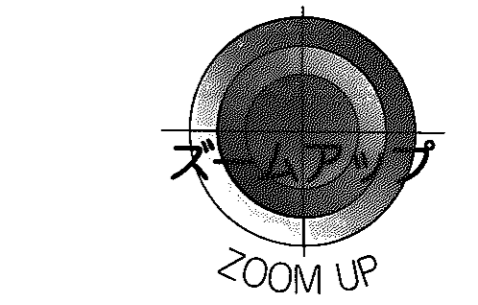
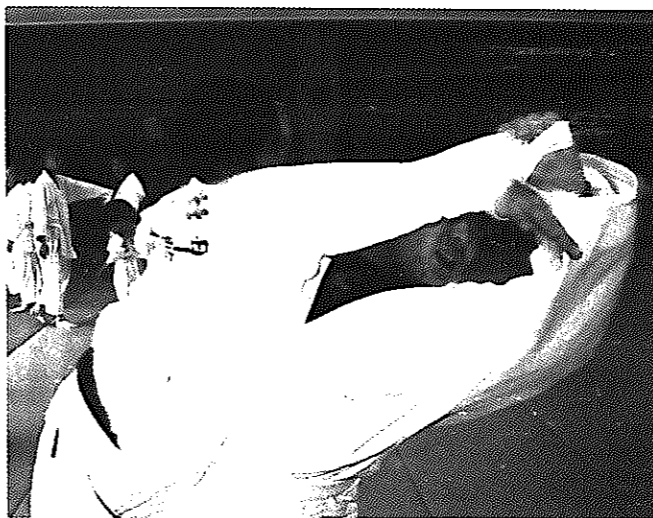
CONTENTS (もくじ)

- 農業王国しろね「大地の恵み」..... 2、3
- 住基ネットワークシステム運用開始... 4、5
- みんなで支える介護保険..... 6~9
- 市政クリップ、おしゃべりさろん..... 10、11
- 国民健康保険特別会計..... 12
- 行政出前講座..... 13
- お知らせ..... 14~17
- みんなのページ..... 18
- ズームアップ..... 20

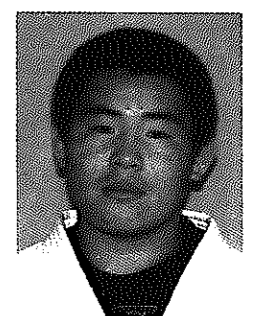
表紙 大通地区ECOウォーキング(7月14日)

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

▶全国に向けて、練習に励む田村さん



高校生相手に3位入賞



田村貴成さん

六月二十九日、豊栄市総合体育館で行われた第一回県体重別選手権で、白根第一中学校柔道部の田村貴成さん(十五歳・十五間)が、少年男子九十キロ級で三位に入賞しました。

田村さんは「八月の全中(全国中学校総合体育大会)に向けて、勢いづけたい」気持ちから、中学生の部ではなく、十九歳以下が参加できる少年の部に出場。県高校総体で上位に入った高校生などを相手にベスト4と健闘しました。しかし、三位という成績にも「しっかりと練習して、自分の弱点を克服しないとだめです」と、田村さんは満足することはありません。

田村さんについて白根第一中柔道部の顧問の先生は、「彼は柔道に対して一生懸命です。それは柔道が好きだというあかし。部活以外にも高校生と練習をしたり、トレーニングを行ったりと、自分なりに鍛えているようです」と話します。

昨年の全中ではベスト16だった田村さん。「県大会で優勝すると、三回目の全中ですが、去年と同じではだめ。優勝が目標です」と力強く語ってくれました。

▶数字で見る市勢 ※7月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,778人	(+ 3人)
男	19,968人	(+ 2人)
女	20,810人	(+ 1人)
世帯	11,370世帯	(+10世帯)
出生	32人	死亡 16人
6月中の転入	67人	転出 80人

編集ルーム

◎今子どもたちは、楽しい夏休み。しかし、忘れてはならないのが、終業式の日に渡された数々の宿題です。◎小・中学校のころのわたしは、いつも甲子園や黄色いTシャツの番組が終わったところに、宿題を一気に片付けていました。◎現在では、宿題が紙面作りに、夏休みの最終日が締め切り日へと変わり、原稿出しに追われると、あのころに戻ったような感覚にとらわれます。(た)

豆 凧 (京都)

ミニ凧が世界的に流行っています。室内大会も開かれるほどです。五月のイギリスの凧揚げ大会も、会場のテントでミニ凧作りのワークショップが人気を集めていました。

六月、白根の大凧十七組のミニ凧を贈ってもらいました。京都の西田案、大川内修両氏の合作です。極薄の和紙に、〇・二ミリほどに削った竹骨をはって作られています。その精巧な出来栄に驚かされます。

京のミニ凧作家の吉積信彦氏は、製作指導に世界中を飛び回っています。館のオープンの際にも多くの作品の寄贈を受けました。京都にはほかにも藤

枝泉氏、岡嶋毅氏ら、多士済々です。凧となると目の色が変わってしまふ、白根の凧人気質。特に大凧へのこだわりは異常といえるほどです。世はさまざまです。その対極には極小の凧に執着する人もいます。ちなみに吉積氏作の最小の凧は、高さが六ミリとのこと。もちろん揚がりませんでした。

■お知らせ 「あなたも凧博士」は、次回から新コーナー「レスリングについて(仮)」と交互に掲載します。



あなたも凧博士

文・田村和雄
(しろね大凧と歴史の館運営委員会)